



路面電車駅前乗入等の岡山都心再生に 8 億 5100 万円予算

■岡山市は 2 月議会で審議入りする平成 26 年度予算に、路面電車岡山駅前広場乗入れの調査費や、県庁通りトランジットモール交通実験などの、都心活性化策に、合計 8 億 5100 万円余りを計上した。秋のイオンモール開業に向けて、懸案の一挙解決が図られそうだ。

■路面電車の駅前広場乗入れは、日本だけでなく世界でも、都心活性化策としてオーソドックスに手法であり、国土交通省も早くから「交通結節点改造」として、社会資本整備の一環として推進してきたものだ。本格的高齢化社会を迎えて、公共交通重視の流れを作るためには、都市の主要駅での乗換利便性確保は最重要課題だ。

■岡山駅前広場への路面電車乗入れは、1997 年の第三回路面電車サミットの会場で、岡山電気軌道から乗入れ希望が出されたのが最初だが、早くもその翌年には豊橋駅で路面電車の駅前乗入れが実現した。岡山駅では、その頃駅前広場の改装がようやく実現し、路面電車乗入れ時には、バスの方面別組み換えを行おうとの機運が高まった。だがその後各地で路面電車駅前広場乗入れが次々と実現する中、もっとも簡単な都心回遊性確保策である路面電車駅前乗入れは実現しなかった。

■全国各地の乗入・延伸の状況は以下。

- 1998 年 豊橋鉄道・JR 豊橋駅乗入れ
- 2000 年 土佐電鉄・JR 高知駅乗入れ
- 2004 年 広島電鉄・JR 横川駅乗入れ
- 2004 年 鹿児島市電・JR 鹿児島駅乗入れ
- 2006 年 富山ライトレール開業・JR 富山駅
- 2009 年 富山都心環状化完成
- 2010 年 熊本電鉄・JR 熊本駅乗入れ
- 2011 年 熊本電鉄・JR 水前駅結節点改造
- 2011 年 鹿児島市電軌道緑化完成
- 2014 年 高岡万葉線・JR 高岡駅舎内乗入れ
- 2014 年 福井鉄道・えちぜん鉄道相互乗入れ
- 2014 年 富山地鉄・JR 富山駅乗入れ

- 2014 年 札幌市電・都心環状化
- 構想中 福井鉄道・JR 福井駅乗入れ
- 構想中 札幌市電・JR 札幌駅乗入れ

H26.2.22.山陽

路面電車の岡山駅乗り入れ

14 年度前半にも協議開始

業者や住民、関係機関と

岡山市市長意向

岡山市の大森雅夫市長は 21 日、市中心部を走る路面電車の JR 岡山駅東口広場への乗り入れについて、検討作業の具体化に向け、2014 年度前半にも交通事業者など関係機関と協議を始める意向を示した。

市長は、東口広場敷地の大半を所有する JR 西日本の真鍋精志社長と 1 月に会談し、協議の継続で一致したことを踏まえ、この日開会した 2 月定例会市議会本会議で「14 年度前半にも関係者の方々と協議を始められるよう必要な作業を行っていきたい」と述べた。

乗り入れのメリットについては「岡山駅と旧城下町の両エリアをつなぐ公共交通の利便性向上に大きな意味を持つ」と強調した。市によると、02 年に東口広場の一般車乗降場整備に関してバス、タクシー協会や経済団体、県警、地元住民らとの検討組織を設置した経緯があり、同様の構成団体による組織設立も検討されている。

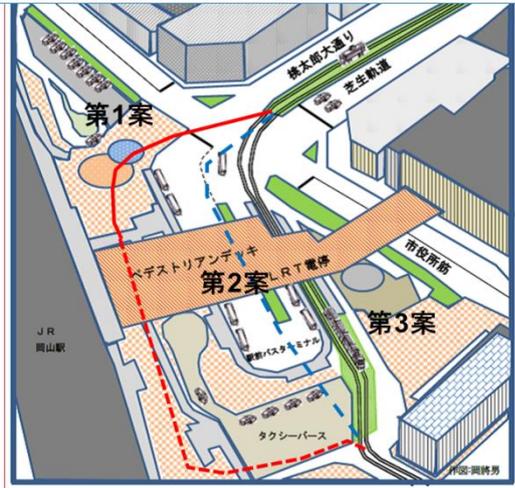
岡山駅南で大型商業施設・イオンモール岡山が 11 月にも開業するのを見据え、市は、中心市街地活性化の政策パッケージに路面電車乗り入れに向けた調査・検討事業を盛り込んでいる。関係機関との協議を踏まえ、整備費の概算額などを含む乗り入れ案を 14 年度中にまとめる。(高下修)

■交通結節点改造やトランジットモール実験については、2 面にあるように、各地の取り組みを受けて、国土交通省でも手厚い補助制度を整備して来ている。また吉備線 LRT 化などの先進事業については、国はやる気のある地域の組織横断的取組を積極的に支援する予定である。

■今年度の主要施策予算

- ★県庁通りまち歩き社会実験 4460 万円
- ★西川緑道公園筋社会実験 3270 万円
- ★路面電車駅前乗り入れ調査 1870 万円
- ★吉備線 LRT 化調査 2000 万円
- ★モモチヤリの拡大 7820 万円

路面電車・岡山駅前広場乗り入れ位置の三案



導入各案の長短

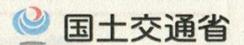
- 第1案 噴水直方向行き止まり
地下街の強度など最短実現、工費安い
駅舎に近く、利用者には便利
吉備線接続時に地下街補強調整と費用大
- 第2案 バスパース活用案
バス業界との調整必要、横断デッキ必要
地下街との調整必要、工期長期化
- 第3案 広場最南端利用
岡山市の土地を利用、地下街影響最少
地下駐車場導入路・タクシー進入路問題

LRTの整備等に対する総合的な支援スキーム 国土交通省

<p>地方公共団体等向け (公設部分・事業者への間接補助等)</p> <p>社会資本整備総合交付金 <道路局、都市局></p> <p>LRTの走行空間(走行路面、停留所等)、施設、車両の整備、ICカードの導入等に対し総合的に支援</p> <p>国費率: 国 5.5/10等 【交付対象者】地方公共団体等</p>	<p>事業者向け</p> <p>地域公共交通確保維持改善事業 <総合政策局、鉄道局></p> <p>LRTシステムの構築に不可欠な施設(低床式車両、制振レール、車庫、変電所等)の整備、ICカードの導入等に対して補助</p> <p>補助率: 国 1/3 【補助対象者】鉄道事業者</p>
---	--

上下分離方式などさまざまな官民の役割分担によるLRT整備を総合的に支援

社会資本整備総合交付金によるLRT整備の推進



平成26年度予算案: 9,124億円の内数 (対前年度比1.01)

・社会資本総合整備計画に位置付けることにより、社会資本整備総合交付金を活用し、LRTの整備に対して総合的、一体的な施策の推進が可能

社会資本整備総合交付金による総合的なLRT導入のイメージ

【基幹事業等】

《LRTの整備を含めた多様な都市交通施設の整備》



LRT走行空間、施設の整備

【歩行者空間整備】

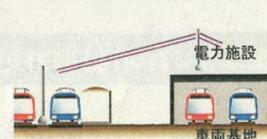


歩行者専用道路の整備

【駐輪場の整備】

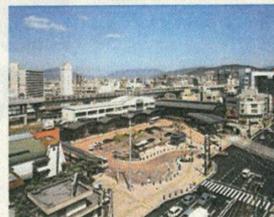


【LRT関連施設整備】



車両基地、電力施設等の整備

【交通結節点の整備】



駅前広場の整備

【効果促進事業】

《公共交通の魅力の向上等》

【車両の導入】



LRT車両の購入

【公共交通の利用促進・中心市街地賑わい創出】



トランジット・モール
社会実験

※写真はいずれも整備イメージ